

平成二十七年 第六期くまもと俳句ポスト

第六期開函

日本伝統俳句協会理事 岩岡 中正 選

特選

八雲全集どかと置かれて山眠る

熊本県熊本市

加藤いろは

【講評】

ハーン旧居で見た全集でしょうか。生涯に歴大な著作をのこしたハーン。「どかと置かれて」に、ハーンの業績の大きさ重さがよく表現されています。季節はまさに冬。阿蘇の遠嶺もどっしりと眠りに入っています。この冬山のように偉大なハーンの業績に心打たれている様子が、力強く印象的に詠まれています。

わが輩通り賞

二の丸や刀ひつさげ秋まつり

熊本県熊本市

菊池一郎

入選

漱石の驛に降り立つ初しぐれ

熊本県熊本市

田中茗荷

団栗のひとつ入りたる産湯の井

熊本県熊本市

坂口美穂子

峠越え那古井の宿へ息白し

熊本県熊本市

橋本陸太

佳作

帰省子の行くも帰るも阿蘇を越へ

熊本県熊本市

中村頌子

群青に城輝いて露のとう

熊本県熊本市

林良章

咳一つ智衆の背の優しかり

熊本県熊本市

角田雅春

つゆの玉はつばの上ですべり台

熊本県熊本市

熊澤希予

漱石の立ちし教壇黄落期

熊本県熊本市

矢澤幸乃

若水をたつぷり貰う井戸ありて

熊本県熊本市

宮本邦夫

鴨に明け鴨に暮れゆく江津の湖

熊本県熊本市

池田道子

落葉ふるハーン旧居の息づかい

福岡県北九州市

内山雅子

霊木の鳴る一月の七日かな

熊本県玉名市

山村恵子

生けられて水仙清し八雲邸

熊本県熊本市

中山恵實子

投句総数

二三九句

市外

三九句

市内

二〇〇句

開函日 平成二十七年二月二十八日